松江市
伝統文化芸術
振興計画

第２期
実施計画



松 江 市

（令和８年度版）

目次

第１章　第２期実施計画の策定にあたって……1
１．はじめに……1
⑴松江の文化力を支える七つの柱……1
⑵六つの取組の視点……2
２．策定の目的と計画期間……2
⑴策定の目的……2
⑵計画の位置づけ……3
⑶計画期間……3
３．めざすべき姿……4
第２章　現状と課題（第１期実施計画を振り返って）……5
１．第１期実施計画の取組と成果……6
２．アンケートの結果……16
⑴アンケート結果の概要……16
⑵アンケート結果と分析……16
３．本市の課題……21
第３章　伝統文化芸術振興を図るために取り組む施策・方針……22
１．４つの課題ごとに取り組む施策・方針……22
⑴効果的な情報発信……22
⑵鑑賞・体験・学習の機会の確保……24
⑶後継者・担い手育成……26
⑷資金確保……28
第４章　推進のあり方……29
１．推進する上での役割（市、文化に関わる者の役割）……29
⑴市の役割……29
⑵文化に関わる者の役割……29
２．関係機関との連携及び市の推進体制……30
⑴関係機関との連携……30
⑵市の推進体制……30
３．実施計画の評価・検証……31
４．SDGs との連携……31
第５章　KPI 一覧……32

第１章　第２期実施計画の策定にあたって

1　はじめに

本市では、令和 3（2021）年 3 月に、世代を超えて誰もが心豊かになれるまちの実現に向けて、皆が力をあわせて取り組むための指針として、「松江の文化力を生かしたまちづくり条例」（以下「条例」という。）を制定するとともに、「松江市伝統文化芸術振興計画」（以下「振興計画」という。）を制定しました。

また、令和 4 年 3 月には、「松江市伝統文化芸術振興計画第 1 期実施計画」（以下「第 1 期実施計画」という。）を策定し、振興計画の取組方針に基づいて取り組む施策や、具体的な事業を整理と進捗管理を行うことで、松江の文化力を生かしたまちづくりを推進し、「誰もが松江の伝統文化芸術を誇りに思い、心豊かに暮らせるまち」というめざすべき姿の実現に向けて取り組んでいます。

種まき期として位置づけている第 1 期実施計画期間では、こどもを中心とした伝統文化芸術を体験する機会の充実や、文化財情報のデジタル化、さんびる文化センタープラバホールをはじめとした拠点施設の整備など多くの施策や事業を実施し、伝統文化芸術の振興につながる種をまくことができました。

第 1 期実施計画の成果と課題を検証し、次なる計画期間に萌芽をさらに大きく成長させることで、めざすべき姿を実現するため、松江市伝統文化芸術振興計画第 2 期実施計画（以下「第 2 期実施計画」という。）を策定いたします。

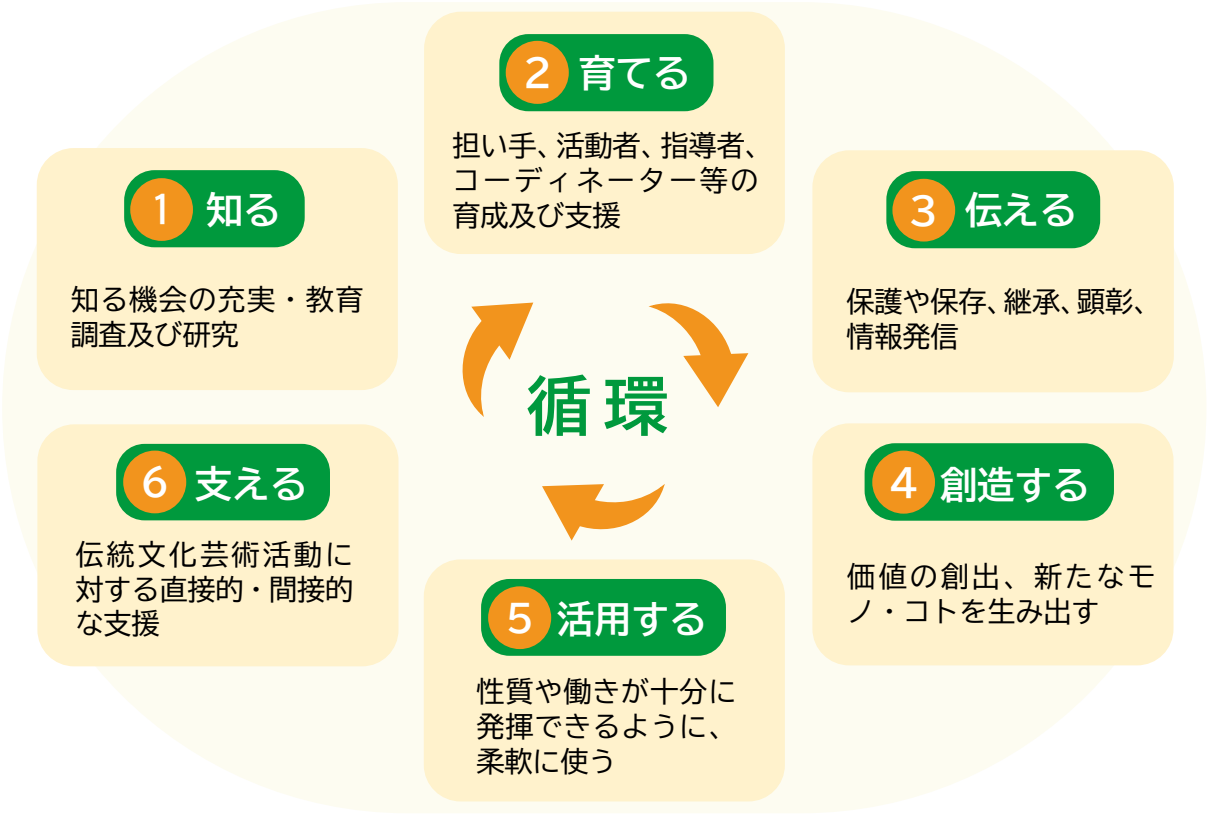
⑴松江の文化力を支える七つの柱

条例及び振興計画では、市民の暮らしの根底にあり市民の誇りとなりうる力を「松江の文化力」と定義し、その「松江の文化力」を支える柱として、以下の七つの伝統文化芸術を定めています。



⑵六つの取組の視点

条例及び振興計画では、伝統文化芸術の振興にあたって「知る」「育てる」「伝える」「創造する」「活用する」「支える」の六つの取組の視点を取り入れ、循環させながら推進することと定めています。



2 策定の目的と計画期間

⑴策定の目的

振興計画で定めた「七つの柱」と「六つの取組の視点」ごとの取組方針に基づいて、取り組む施策や具体的な事業を整理し、進捗管理を行うことで松江の文化力を生かしたまちづくりを推進し、めざすべき姿を実現するため、実施計画を策定するものです。

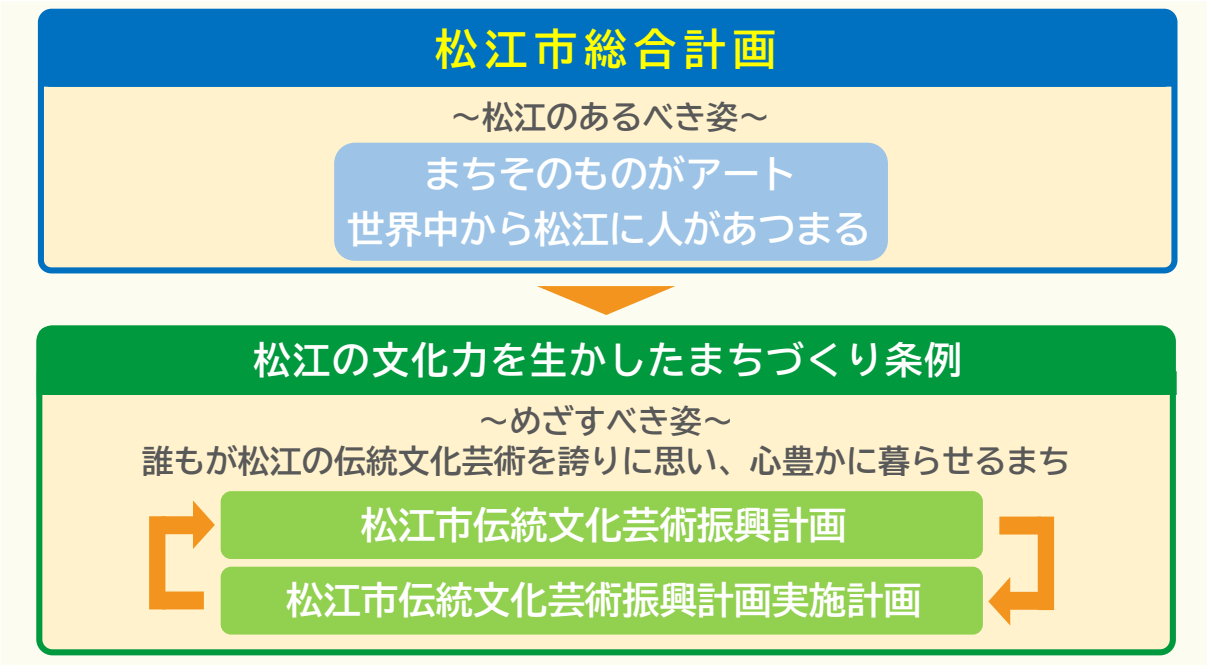
第 1 期実施計画では、七つの柱ごとに本市が取り組む施策や事業を整理して記載することで現状を把握するとともに、六つの取組の視点を取り入れ、効果的に循環させていくことで、七つの柱ごとの「めざすべき姿」を実現するための取組みを推進しました。

第 1 期実施計画の期間中には、新型コロナウイルス感染症の拡大による伝統文化芸術活動の減少や少子高齢化の更なる進行による人口減少、デジタル化の急速な進歩に伴うデジタルトランスフォーメーション（ＤＸ）の進展など、本市を取り巻く社会状況に変化がありました。

第 2 期実施計画では、このような社会状況の変化に対応するとともに、第 1 期実施計画で先鋭化した課題を解決するための施策や事業に取り組むことで、「誰もが松江の伝統文化芸術を誇りに思い、心豊かに暮らせるまち」の実現を目指します。

⑵計画の位置づけ

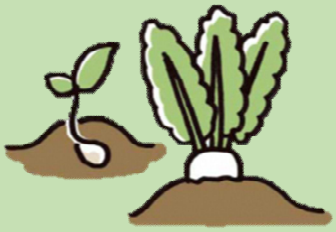
本実施計画は、本市の最上位計画である「松江市総合計画（MATSUE DREAMS 2030）」を上位計画に位置付けるとともに、既存計画と整合性を図りながら、伝統文化芸術振興を推進します。



⑶計画期間

第 2 期実施計画：令和 7 年度（2025 年度）～令和 10 年度（2028 年度）の 4 年間

実施計画の計画期間は 1 期 4 年間とし、毎年度、施策や実施事業の評価・検証を行いながら、見直しを行うこととします。

松江市伝統文化芸術振興計画 計画期間：令和 3 年度～令和 14 年度（12 年間）		
第 1 期　実施計画 令和 3～6 年度（4 年間）	**第 2 期　実施計画** **令和 7～10 年度（4 年間）**	第 3 期　実施計画 令和 11～14 年度（4 年間）
種まき期 実施計画策定前から取り組んでいる事業のほか、現状や課題を踏まえ、取り組むべき施策や事業を推進していきます。 	**成長期** 改めて種をまく事業、第 1 期の課題を修正し、充実させて継続する事業など、次の段階として取り組むべき施策や事業を推進していきます。 	収穫期 第 1 期、第 2 期の課題や実績を検証し、振興計画を総括するとともに、長期的展望の中で取り組むべき施策や事業を推進していきます。 

誰もが松江の伝統文化芸術を誇りに思い、心豊かに暮らせるまち



第２章　現状と課題（第１期実施計画期間を振り返って）

本市では、さまざまな分野の文化芸術活動や地域に根づいた伝統行事、文化財の保存・活用などが活発に行われています。しかし、社会環境の変化などから伝統文化芸術振興を図る上で多くの課題が生じています。

第１期実施計画の策定にあたり、文化団体や個人を対象にした市民アンケートやヒアリング調査を実施し、その調査結果や松江伝統文化芸術振興審議会（以下「審議会」という。）の意見などから、本市の伝統文化芸術振興を図る上での課題を以下の７つに整理し、その解決に向けてさまざまな取組みを進めてきました。

第１期実施計画で整理した７つの課題

1. 次世代への伝統文化芸術の継承が困難になっている
2. 伝統文化芸術活動を行う者の活動・発表機会が少ない
3. 情報発信の不足
4. 伝統文化芸術に触れる機会が少ない
5. 伝統文化芸術活動を行う者同士の交流機会が少ない
6. 資金の不足
7. 利用しやすい施設の不足

第２期実施計画の策定にあたっては、第１期実施計画で取り組んできた事業の成果を検証するとともに、急速に変化する社会の中で、現在、市内の伝統文化芸術団体が抱えている課題や市民の皆様が求めていることを把握するため、アンケート調査を実施するとともに、審議会にて意見をいただきました。

1　第１期実施計画の取組と成果

第１期実施計画では、七つの柱及び七つの柱に共通して取り組む施策や事業をまとめ、伝統文化芸術振興に取り組んできました。その概略は以下の通りです。



【めざすべき姿】
有形・無形を問わず数多く存在する「文化財」への理解を深め、保存・管理を行うとともに、新たな活用の推進を図り、継承していくまち

【取組方針】
文化財の調査・研究を進め、情報を共有し、保全と利活用を推進する

主な取組

〈知る〉

■ **地域の文化財調査**
公民館や地域住民と共同で古文書などの調査を実施

〈伝える〉

■ **国宝松江城天守防災施設等の整備【文化財の適切な保存】**

■ **鹿島歴史民俗資料館収蔵品のデータベース化【情報の共有】**

〈活用する〉

■ **歴史のまち歩き**
公民館区毎に作成した文化財などの地域のお宝を記載したまち歩きマップを活用


公民館区単位での文化財調査


八束町でのまち歩き

KPI（重要業績評価目標）

KPI の名称 （★は総合計画掲載の KPI）	単位	上段：目標値　下段：結果			
		R3	R4	R5	R6
国・県・市指定等文化財の新指定等件数	件	2	2	2	2
		2	2	4	1
歴史的建造物登録認定数 【平成 28 年度からの累計】★	件	17	18	19	20
		17	17	18	21
松江城天守登閣者数【4 月～3 月】★	人	445, 000	445, 000	450, 000	460, 000
		177, 482	314, 002	375, 756	398, 675

成果と課題

文化財のデータベース化や地域の文化財の調査を進めることで、文化財の保全や活用を進めることができている一方、松江城の登閣者数が目標値に達していないなどの現状から、魅力発信の強化が必要。

2



地域に根づく
伝統文化

【めざすべき姿】
地域に根づく伝統文化を「地域の宝」として継承できるまち

【取組方針】
子育て世代がこどもと一緒に行事に参加できる地域づくり

主な取組

- **記録選択無形民俗文化財「青柴垣神事」の調査及び用具整備等の支援**
- **地域の伝統芸能や祭りを親子で体験できる機会の創出**
  佐陀神能やどう行列、墨付けとんどなど

〈伝える〉

- **ユネスコ無形文化遺産「佐陀神能」の保存・継承支援**
  舞殿の改修や用具の修繕
- **各地域に根づいた伝統行事や祭りの記録・保存支援制度の創設（R4 年度～）**

〈活用する〉

- **伝統芸能が一堂に会する「松江伝統芸能祭」の開催（R4 年度、R6 年度）**



親子での佐陀神能体験



松江伝統芸能祭

KPI（重要業績評価目標）

KPI の名称 （★は総合計画掲載の KPI）	単位	上段：目標値　下段：結果			
		R3	R4	R5	R6
（小 6）今住んでいる地域の行事に参加している児童生徒の割合	%	63.2	65	67	69
		63.2	61.1	56.4	58.8
（中 3）今住んでいる地域の行事に参加している児童生徒の割合	%	45.6	48	50	52
		45	37.6	34.3	52.4
松江祭鼕行列の参加者数	人	2,000	2,000	2,000	2,000
		0	1,000	1,700	1,640

成果と課題

伝統芸能祭の開催や、地域に根付く伝統行事の記録・保存を支援する補助制度の新設など、伝統文化を伝える環境の整備に取り組んだものの、地域の行事に参加している小６や中３の割合は目標値に達していない。特に、学校や地域をフィールドにした学習・活動機会の充実が必要。



3

市民生活に根づく 茶の湯文化

【めざすべき姿】
幅広い分野に影響を与えている「茶の湯文化」を、あらゆる世代が様々な形式で、日常生活として親しむまち

【取組方針】
江戸時代から受け継がれてきた松江の「茶の湯文化」や「食文化」など、生活文化を改めて見つめ直し、次世代につなげていく

主な取組

〈知る〉

■ **「松江藩ちゃのゆの学校」の開催**
茶道未経験者やこどもを対象にした体験イベント

■ **親子での体験機会の創出**
和菓子づくり、八雲塗、抹茶茶碗づくり、そば打ち＆出雲弁で紙芝居体験など

〈育てる〉

■ **市内及び首都圏、関西圏での工芸品の販売展示**

〈伝える〉

■ **職人商店街創出のための支援**
職人の手仕事の「観える化」「ものづくり体験」の提供のために必要な店舗改修や中心市街地へのトライアル出店に対する補助金交付



松江藩ちゃのゆの学校



手仕事の観える化改修をした和菓子店

KPI（重要業績評価目標）

KPIの名称（★は総合計画掲載のKPI）	単位	上段：目標値　下段：結果			
		R3	R4	R5	R6
「松江藩ちゃのゆの学校」受講者数【4月～3月】	人	112	124	136	150
		0	34	82	109
明々庵及び赤山茶道会館の入館者数【4月～3月】	人	12,350	13,212	13,212	13,212
		8,565	15,494	15,736	15,609
出雲かんべの里工芸ショップ及びクラフト展（丘のクラフト展、新規クラフト展）での工芸品販売額【4月~3月】★	千円	4,245	5,370	6,495	7,620
		3,949	8,980	5,841	9,246

成果と課題

茶の湯文化を知る・体験する機会の提供に力を入れて取り組んだ。松江が誇る茶の湯文化を、市内外の方に広く発信することで、市民への浸透を図ることに加え、市外から訪れる方々の興味関心へと繋げることが必要。

4



小泉八雲が五感で感じた
松江の生活文化

【めざすべき姿】
自分だけの価値観で物事を解釈せず、多様性を尊重する心「オープンマインド」により、様々な価値観を認めあうまち

【取組方針】
五感を使って様々な文化に触れ、感性を養い、多様性を尊重し合える社会の構築

主な取組

〈知る〉

■ **小泉八雲の作品やオープンマインドの精神を学ぶための機会の創出**
「青少年スピーチコンテスト」、「読書感想文の募集」、「スーパーへるんさん講座」（学校単位での小泉八雲学習）など

〈伝える〉

■ **小泉八雲旧居の適切な保存管理と史跡全体の公開・活用に向けた保存活用計画の策定（R6～R7 年度）**

〈活用する〉

■ **声優や俳優、ミュージシャンによる小泉八雲の朗読会などの開催**

■ **小泉八雲没後１２０周年記念事業**
市内で開催される小泉八雲顕彰イベントへの支援



小泉八雲の作品を英語で暗唱する
青少年スピーチコンテスト



小泉八雲旧居での学習

KPI（重要業績評価目標）

KPI の名称 （★は総合計画掲載の KPI）	単位	上段：目標値　下段：結果			
		R3	R4	R5	R6
多文化理解を促進する事業への参加者数 【4 月～3 月】★	人	1,400	1,800	2,000	2,200
		1,744	2,056	2,780	2,320
小泉八雲記念館の入館者数 【4 月～ 3 月】	人	92,000	92,000	92,000	92,000
		29,877	52,057	64,952	89,562
歴史・文化資源のまち歩き参加者数 【4 月～ 3 月】★	人	180	240	240	240
		182	214	198	103

成果と課題

長年にわたり継続的に実施してきた顕彰事業や、令和 7 年秋、小泉八雲の妻・セツをモデルとしたドラマの放送決定を受け、小泉八雲への興味関心が高まってきている。従来の取組みに加え、官・民・学連携による事業展開によって、小泉八雲への理解促進の充実を図ることが必要。



5

市民とともに育む 文化芸術活動

【めざすべき姿】
市民により主体的に取り組まれている文化芸術活動を誰もが一層推進し、活動者・担い手・指導者・文化芸術コーディネーター・享受する人たち等が育ち、多様性が尊重される、活気あふれるまち

【取組方針】
文化芸術活動の価値を知り、広め、接する機会を増やすとともに、関わる“人財”の育成を図る

主な取組

〈活用する〉

- **国際演劇祭である「松江・森の演劇祭」の開催支援、こどもの観劇機会の創出**
- **「松江市民美術展」の開催による市内の文化芸術活動者の発表の場の創出**
  デザイン部門の新設、若者の出品無料枠拡大
- **プラバホール休館中のコンサート開催や文化芸術動画の配信**
  文化芸術に触れる機会の確保

〈支える〉

- **各文化団体への活動助成や団体間の交流を促進**
  松江市文化協会（約 100 の伝統文化芸術団体が加盟）への委託事業



松江・森の演劇祭



松江市民美術展

KPI（重要業績評価目標）

KPI の名称（★は総合計画掲載の KPI）	単位	上段：目標値　下段：結果			
		R3	R4	R5	R6
松江市民美術展来場者数	人	1,575	1,650	1,725	1,800
		940	1,061	1,157	1,349
松江市文化協会加盟団体の団体数	団体	100	105	110	115
		99	97	92	95
八雲林間劇場（しいの実シアター ）の利用者数【4 月～3 月】	人	5,184	5,930	6,048	6,169
		3,964	6,781	6,768	4,041

成果と課題

コロナ禍にあっては、文化芸術活動への制約があったものの、しいの実シアターでの鑑賞機会の創出や、市民美術展での新部門創設など、市民が幅広く文化芸術に触れる機会を提供した。引き続き、文化芸術の鑑賞・発表の機会の充実に取り組むことが必要。



伝統文化芸術活動の拠点となる施設

【めざすべき姿】
伝統文化芸術活動の拠点施設として適切に管理され、誰もが親しみ、伝統文化芸術活動を実践することができるとともに伝統文化芸術に触れ、学ぶことができるまち

【取組方針】
人を育て、適切な活用を促し、伝統文化芸術に触れる機会の創出

主な取組

〈知る〉

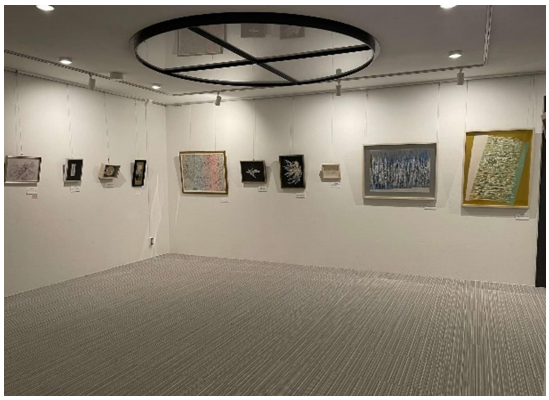
- **さんびる文化センタープラバホールリニューアルオープン事業開催**
  「市民創作音楽劇」、「朗読会」、「コンサート公演」など
- **カラコロ工房のリニューアルオープンに併せた伝統文化芸術体験機能の追加**
  和菓子やお茶、陶芸など松江の伝統文化に触れることができる体験講座、展示会を開催できるギャラリーの設置

〈伝える〉

- **さんびる文化センタープラバホールの改修**
  耐震改修に併せた座席椅子の改修や全館 Wi-Fi 化、授乳室の新設など



リニューアル後の
さんびる文化センタープラバホール



リニューアル後のカラコロ工房ギャラリー

KPI（重要業績評価目標）

KPI の名称 （★は総合計画掲載の KPI）	単位	上段：目標値　下段：結果			
		R3	R4	R5	R6
プラバホール施設利用者数 ※令和 4 年度 、5 年度 休館【延べ利用者数／4 月～ 3 月】	人	85,000	—	7,400	100,000
		46,665	—	6,700	90,156
松江歴史館観覧者数【4 月～3 月】	人	52,100	51,000	52,000	53,000
		28,760	42,673	48,647	49,449
出雲かんべの里利用者数　【4 月～ 3 月】	人	53,000	54,000	55,000	56,000
		60,003	61,052	61,832	120,381

成果と課題

プラバホールやカラコロ工房の改修により、市内文化施設の機能充実を図った。文化の拠点施設に係る情報を効果的に発信することで、施設の利用促進と文化活動の充実に繋げていくことが必要。



宍道湖、堀川、中海等の
松江的景観

【めざすべき姿】
多くの文人が「水の都」と書き記し、市民の心のよりどころで誇りとなっている風景が継承され、100 年後も変わらず、安らぎを与えられるまち

【取組方針】
住む人が誇りと愛着を感じ、訪ねる人の心に残る松江の景観づくり

主な取組

〈伝える〉

- **美保関地区の重要伝統的建造物群保存地区選定に向けた調査研究及び住民説明会の実施**

〈活用する〉

- **島根半島・宍道湖中海ジオパークの保全・活用**
  環境保全、貴重な地質資源を生かした教育やツーリズムなどを実施
- **宍道湖や大橋川沿いの水辺空間でのイベント実施を促進**
  岸公園・白潟公園の河川空間のオープン化



船上で宍道湖の夕景と音楽を楽しむ親子



水辺を楽しむ市民

KPI（重要業績評価目標）

KPI の名称 （★は総合計画掲載の KPI）	単位	上段：目標値　下段：結果			
		R3	R4	R5	R6
水辺の公共空間活用日数【4 月～ 3 月】	日	182	174	174	175
		368	458	280	—
松江市伝統美観保存区域等修景事業費補助金 補助件数【平成 19 年度からの 累計】	件	54	56	58	60
		53	55	57	57
ジオパーク関係イベント入込客数 【4 月～ 3 月】	人	2,000	2,200	2,400	2,600
		1,949	2,134	2,413	2,393

成果と課題

岸公園・白潟公園の河川空間のオープン化により、水辺空間の利活用が進んだ。歴史的景観、ジオパーク、水辺環境などの松江が誇る景観を適切に保全するとともに、イベント等により PR を促進するなど、市民の愛着を育むことができる取り組みが必要。

2　七つの柱に共通して取り組む施策や事業



主な取組

〈知る〉

- **動画共有サイトや SNS を活用し、伝統文化芸術イベントなどを広く発信**
  伝統文化芸術イベントなどをわかりやすく説明する 1 分間のショート動画制作
- **AR（拡張現実）や VR（仮想現実）の技術を活用したアプリケーションの提供**
  松江城天守の VR や城下町を体験することができる AR
- **伝統文化芸術を分かりやすく説明する情報誌などの発刊**
  文化情報誌『湖都松江』、『松江市ふるさと文庫』、歴史館の活動を伝える『MATSUREKI』



動画のリンク集を掲載している松江市 HP



さまざまな刊行物

KPI（重要業績評価目標）

KPI の名称 （★は総合計画掲載の KPI）	単位	上段：目標値　下段：結果			
		R3	R4	R5	R6
松江市 HP 文化関係ページのアクセス数 【4 月～3 月】	件	200,000	210,000	220,000	230,000
		199,082	132,933	132,356	147,556
松江市文化協会 HP のアクセス数 【8 月～10 月平均】	件	23,521	23,991	24,470	24,959
		23,521	23,559	22,403	41,851
公式 X（旧 Twitter）（松江城 with 史料調査課） のフォロワー数　【4 月～3 月】	人	700	800	900	1,000
		710	985	1,131	1,447

成果と課題

情報誌の発刊や、伝統文化芸術イベントを紹介する 1 分動画の作成、AR・VR 技術を活用したアプリケーションの提供など、様々なツールを活用して情報発信を行った。文化の情報を届けたい人に適切に届く形で、情報発信することが必要。



人財育成

主な取組

〈知る〉

- **松江の文化力体験推進事業**
  小学生とその保護者が伝統文化芸術を体験する機会の創出
- **校区や地域の歴史・伝統文化などを学ぶための小・中学校での学習機会充実**
- **「松江城授業プロジェクト」**
  市立小学校・義務教育学校 6 年生全員が松江城と松江歴史館を訪れ、地域の歴史を学ぶ取組み

〈育てる〉

- **文化財専門職の採用による文化財のスペシャリストの育成**
  埋蔵文化財 6 人、文献史学 3 人を採用



親子で八雲塗を体験する様子



松江城の歴史を学ぶ小学生

KPI（重要業績評価目標）

KPI の名称 （★は総合計画掲載の KPI）	単位	上段：目標値　下段：結果			
		R3	R4	R5	R6
松江の文化力体験推進事業の講座・体験教室の実施件数【4 月～ 3 月】	件	—	20	22	24
		—	13	12	14
松江の文化力体験推進事業の講座・体験教室の参加者数【4 月～ 3 月】	人	—	2,300	400	500
		—	294	362	500

成果と課題

松江の文化力体験推進事業の開催により、多様な伝統文化芸術に、親子で体験する機会を創出した。文化を支える人財の確保に繋げるために、学校や地域と連携した体験機会を継続して確保することが必要。



活動に必要な資金の財源確保

主な取組

〈支える〉

■ **本市の伝統文化芸術に対する支援環境整備**

ふるさと納税の使途に「松江の文化力を生かしたまちづくり」、「国宝松江城を中心とした城下町を生かしたまちづくり」、「宍道湖・中海などの自然を生かしたまちづくり」を設定

■ **ふるさと納税の体験型商品の返礼を開始**

「国宝松江城一日城主体験」「人力車で巡る松江の旅」など

■ **本市初のネーミングライツ（命名権）制度導入**

プラバホールのリニューアルオープンに併せ、株式会社さんびるとネーミングライツ・パートナー契約を締結



体験型のふるさと納税返礼品
「国宝松江城　一日城主体験ツアー」



ネーミングライツ・パートナー契約書調印式

KPI（重要業績評価目標）

KPI の名称 （★は総合計画掲載の KPI）	単位	上段：目標値　下段：結果			
		R3	R4	R5	R6
ふるさと納税受入額【4 月～3 月】	千円	200,000	200,000	300,000	300,000
		157,184	210,514	379,863	515,117

成果と課題

体験型商品をはじめとしたふるさと納税返礼品の魅力化などにより、令和 4 年以降、ふるさと納税受入額は目標値を上回った。松江の文化を応援してくれるファンを増やすため、一層の松江の文化を磨き上げとその魅力の発信が必要。

2 アンケートの結果

本市の伝統文化芸術に関する現状と課題を把握するため、「個人」や本市で活動する多様な分野の「伝統文化芸術団体」を対象にしたアンケート調査を実施しました。

⑴アンケート結果の概要（詳細は資料編を参照）

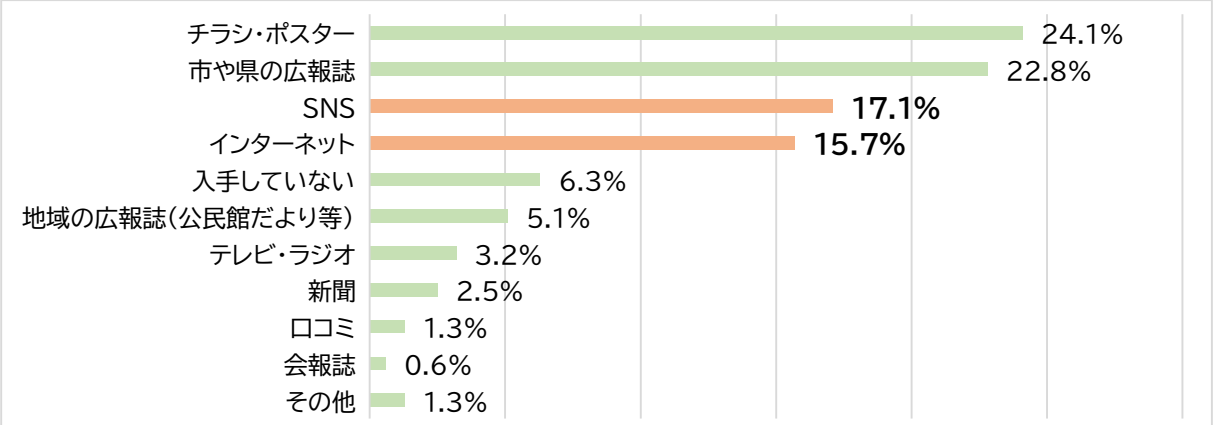
種別	個人アンケート	文化団体アンケート
期間	令和6年7月29日(月)～8月31日(土)	
対象者	市民(個人)	文化団体
回答数	158人	68団体(111団体中)
回答率	—	61%
方法	SNS、公式LINE、HP等	郵送

⑵アンケート結果と分析（詳細は資料編を参照）

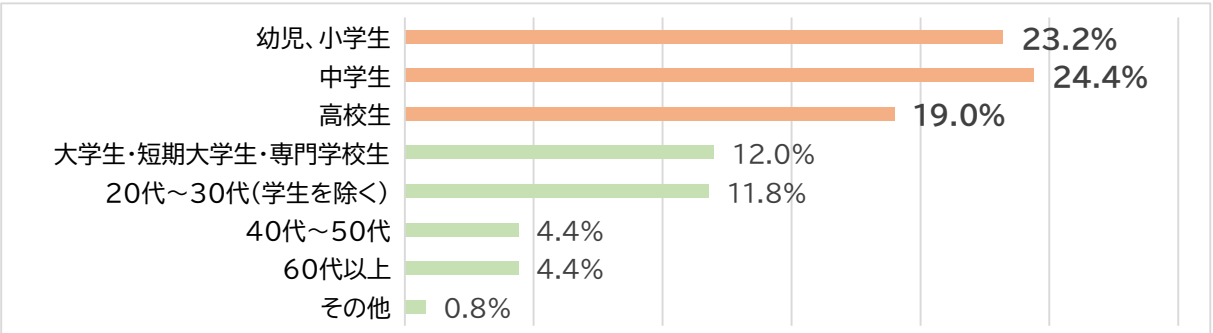
アンケートの集計結果を分析し、「個人」「文化団体」それぞれ特徴的な、結果及び意見を抽出しました。

個人アンケート

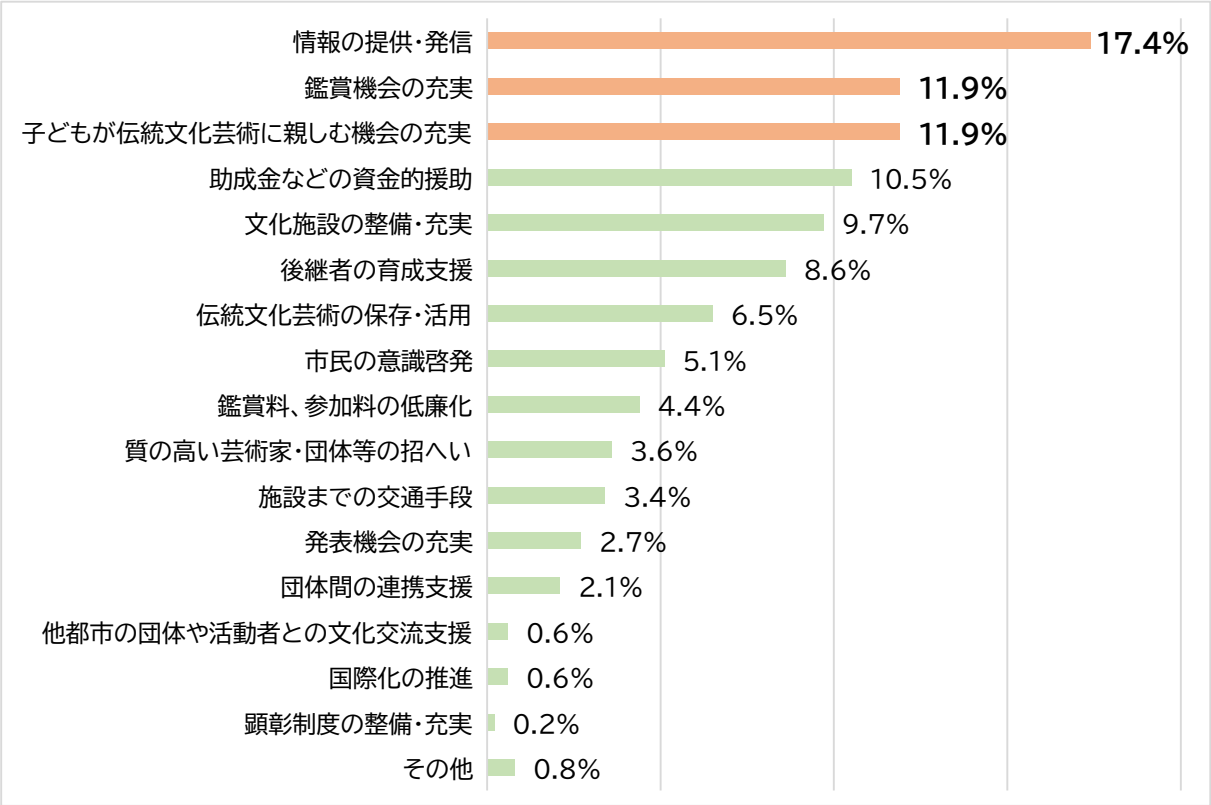
■どのような方法で伝統文化や文化芸術に関する情報を入手していますか



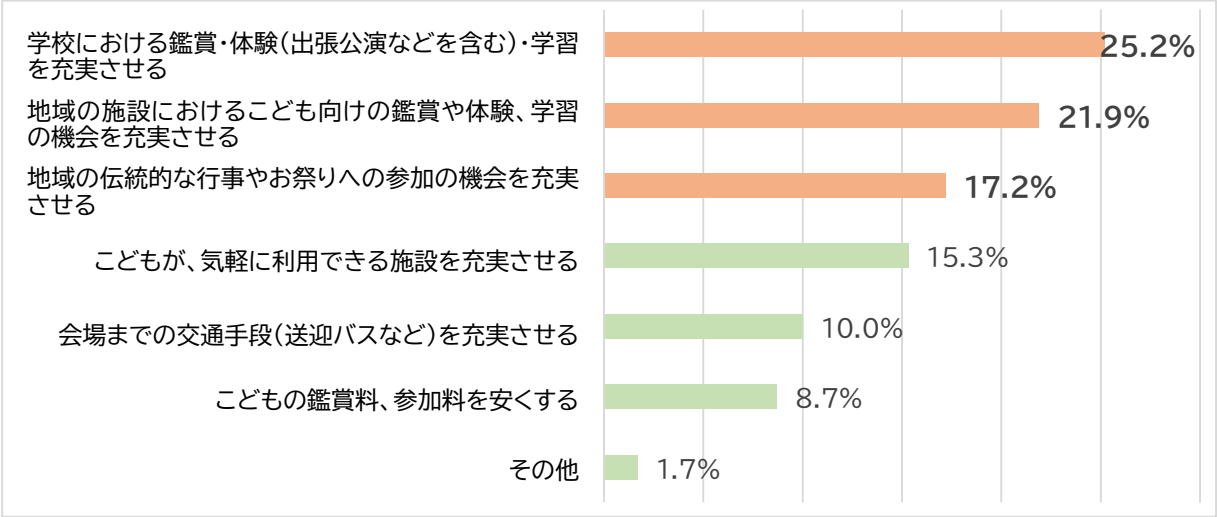
■伝統文化や文化芸術の振興を図るために、どの年代に対して重点的に取り組むとよいと考えますか（3 つにチェックしてください）



■伝統文化や文化芸術の振興のために、何が重要だと考えますか（3 つにチェックしてください）



■こどもが伝統文化や文化芸術に親しむためには、どのようなことに力を入れる必要があると考えますか（全てにチェックしてください）



〇個人アンケート結果の分析〇

SNS・インターネットでの情報入手の割合が増加

チラシやポスター、市報などの紙媒体を利用される方は、46.9%と約半数を占めているものの、前回アンケートと比較して、SNS・インターネットのデジタル媒体を利用して情報を入手する方の割合が約 1.5 倍に増加した。

〈前回〉22.5%　→**〈今回〉32.8%**

「情報発信」「体験・鑑賞機会の充実」が求められる

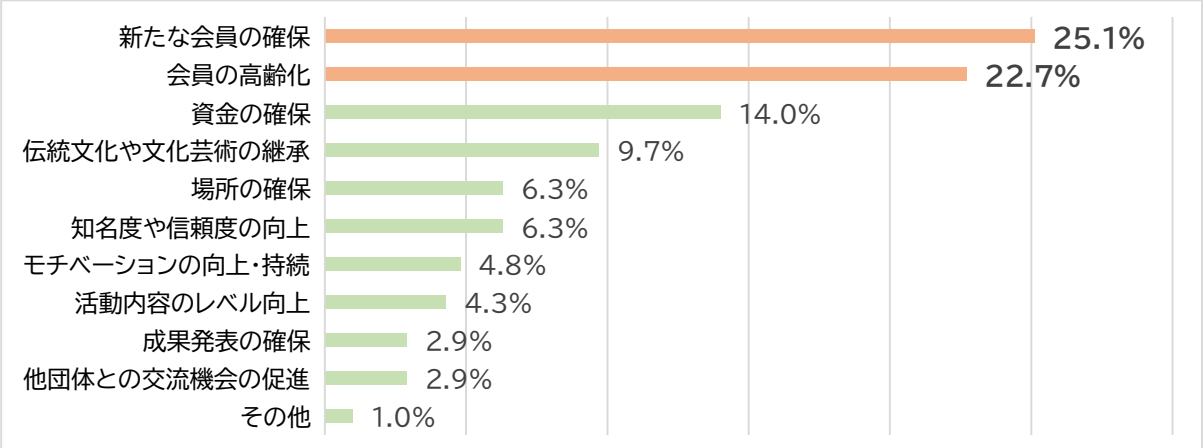
伝統文化芸術の振興には、「情報の提供・発信」、「鑑賞機会の充実」、「こどもが親しむ機会の充実」が重要との回答が**4 割以上**と多くみられた。

「学校と地域」での鑑賞・体験・学習の機会が求められる

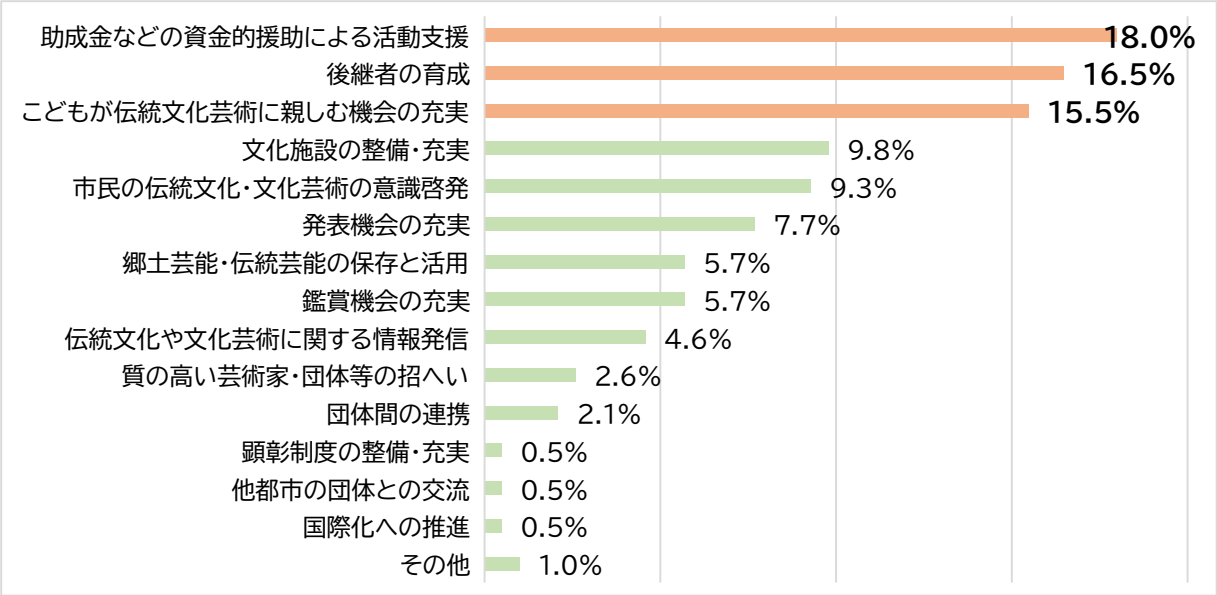
こどもが伝統文化芸術に親しむためには、学校や地域での鑑賞・体験・学習の充実が必要であるとの回答が約半数と多くみられた。

文化団体アンケート

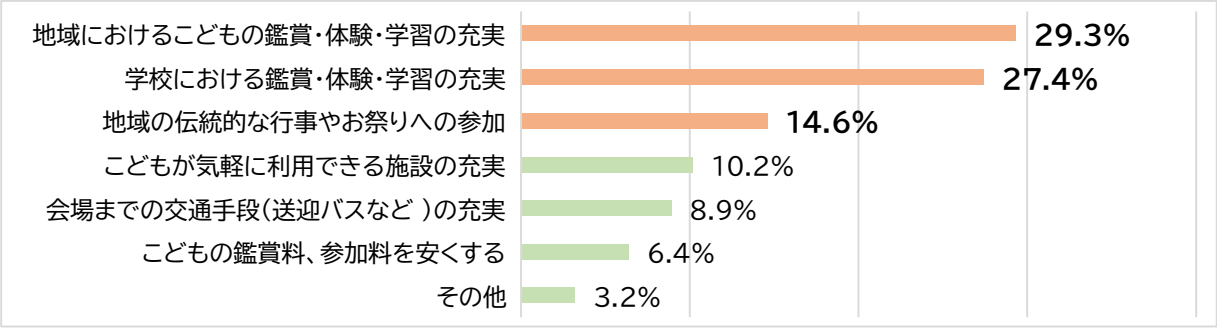
■貴団体が抱えている課題をお答えください（全てにチェックしてください）



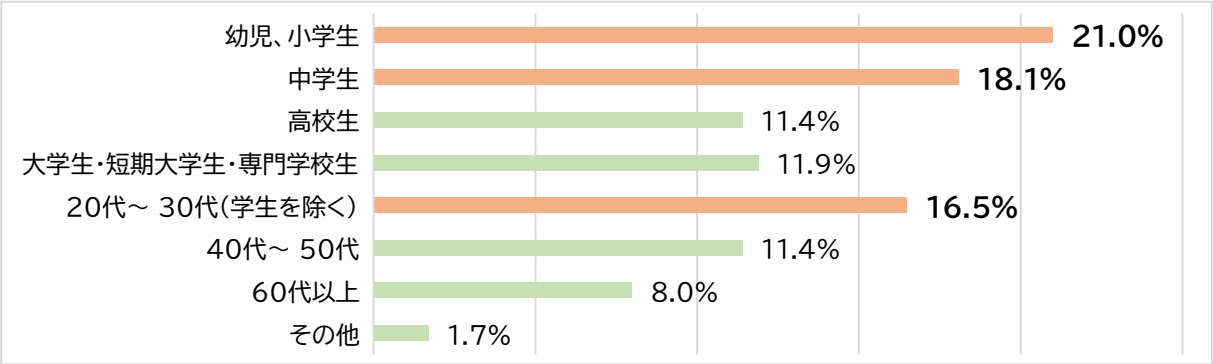
■伝統文化や文化芸術の振興のために、何が重要だと考えますか（3 つにチェックしてください）



■こどもが伝統文化や文化芸術に親しむためには、どのようなことに力を入れる必要があると考えますか（全てにチェックしてください）



■伝統文化や文化芸術の振興を図るために、どの年代に対して重点的に取り組むとよいと考えますか（3 つにチェックしてください）



〇文化団体アンケート結果の分析〇

「新たな会員の確保」「会員の高齢化」が課題

団体が抱える課題として、「新たな会員の確保」と「会員の高齢化」が約半数と最も多く、担い手の不足を感じている団体が多い。

「資金的援助」「後継者の育成」が必要

伝統文化芸術の振興には、「助成金などの資金的援助による活動支援」「後継者の育成が重要」「こどもが伝統文化芸術に親しむ機会の充実」との回答が約半数と多くみられた。

「学校と地域」での鑑賞・体験・学習の機会が求められる

個人アンケートと同じく、こどもが伝統文化芸術に親しむためには、学校や地域での鑑賞・体験・学習の充実が必要であるとの回答が約半数と多くみられた。

3 本市の課題

振興計画では、七つの柱それぞれに「めざすべき姿」と「取組方針」を定め、第１期実施計画で具体的な取組みを進めてきたところです。第２期実施計画では、振興計画をはじめ、第１期実施計画の取組みの成果と課題、アンケート結果、審議会の意見などを踏まえ、七つの柱に共通する課題として次の４つを設定し、重点的かつ網羅的に取組みを進めることで、めざすべき姿の実現に取組みます。

第１期実施計画
取組みの成果と課題

アンケート結果

審議会での意見

以上を踏まえて、下記の課題を設定。

第２期実施計画で設定をする４つの課題

01 効果的な情報発信
もっと知りたくなる・伝えたくなる

02 鑑賞・体験・学習の機会の確保
誰もが「みて・ふれて・まなぶ」

03 後継者・担い手育成
担い手が育つ・文化がつながる

04 資金確保
応援したくなる、され続ける

第３章「伝統文化芸術を図るために取り組む施策・方針」からは、各課題に対する取り組みがどの柱に該当するのか、下記のイラストを用いて説明をします。

松江の文化力を支える七つの柱



１　４つの課題ごとに取り組む施策・方針

01 効果的な情報発信

もっと知りたくなる・伝えたくなる

文化振興を図るうえで、伝統文化芸術に関する情報が、届けたい人にしっかりと届き、その内容が分かりやすく魅力的に伝わる必要があります。効果的な情報発信が課題である現状に対し、以下の点に取組みます。

主な取組

1　多様な手段で分かりやすく文化が伝わる

●松江の文化の魅力がより多くの方に伝わるよう、SNS、市 HP、市報や冊子などの多様なツールを使用し、伝えたい人、伝えたい内容に応じた情報発信に取り組むとともに、多言語化を進めることで、インバウンド対応にも取組みます。

また、市はもとより、市民一人ひとりが松江の文化の魅力を実感し、様々な方法を用いて発信したくなるような環境の整備と風土を醸成に取組みます。

▸**見やすい市 HP**…松江市の歴史・文化、施設、イベント情報や補助制度の掲載



▸**誰でも自由・気軽に情報発信**…SNS･YouTube などの活用、
地域情報サイト「まつえナビ」の利用促進



▸**地域の魅力を届ける情報誌の発行・活用**…「市報松江」、「まちあるきマップ」、
「松江市ふるさと文庫」、「湖都松江」など





地域情報サイト「まつえナビ」



まちあるきマップ

2 多様な手段で気軽に文化に触れる

●デジタル技術などを活用し、場所・時間、天候や障がいの有無に関わらず、松江の文化に気軽に触れることができる環境整備を推進します。

▸**AR(拡張現実)・VR(仮想現実)技術の活用**…松江城天守、城下町、田和山史跡公園など



▸**資料館などの収蔵品のデジタルアーカイブ化**…松江歴史館、鹿島歴史民俗資料館、出雲玉作資料館



▸**資料館展示物などの解説アプリの活用**…松江歴史館、鹿島歴史民俗資料館



●地域の歴史・文化遺産と地域文化の保存、発展を目的として、地域の歴史資料を収集、保存、公開する拠点施設の整備に取組みます。

▸**「松江市文書館(仮称)」の整備**…令和 8 年度開館予定







KPI（重要業績評価目標）

No.	KPI の名称 （★は総合計画掲載の KPI）	単位	基準値	R7	R8	R9	R10
2	松江市ホームページ文化関係ページのアクセス数【4 月～3 月】	件	(R5)132,356	140,000	142,000	144,000	146,000
3	松江歴史館収蔵品データベースのアクセス数【4 月～3 月】	件	(R6)4,344	4,400	4,500	4,600	4,700
4	市から発信された情報がわかりやすいと感じる市民の割合★	%	(R6)49.6	55	56.3	57.5	58.8

02

鑑賞・体験・学習の機会の確保

誰もが「みて・ふれて・まなぶ」

文化振興を図るうえで、伝統文化芸術を気軽に鑑賞・体験・学習する機会が、こどもを中心に幅広い年代で必要です。誰もが鑑賞・体験・学習できる環境を確保するため、以下の点に取組みます。

主な取組

1 市民が文化を身近に感じ、親しむ

●市民が松江の文化を身近に感じ、生活の一部として親しむことができるよう、鑑賞・体験・学習の機会を確保する取組みを推進します。

▸**鑑賞機会の確保**…「松江・森の演劇祭」、「市民文化祭」、「松江伝統芸能祭」、プラバホールでの各種コンサート、「小泉八雲朗読のしらべ」など



▸**親子を対象にした体験機会の確保**…「松江の文化力体験推進事業」、「茶の湯の日イベント」、「松江城天守の床磨き」、など



▸**学習機会の確保**…「松江藩ちゃのゆの学校」、松江歴史館等での様々な展示、歴史まち歩き、文化財の公開





プラバホールでのコンサート



茶の湯の日イベント



テルサ前でのアートイベント



松江の文化力体験推進事業

2 伝統文化芸術に触れられる場所があちこちにある

●さんびる文化センタープラバホールをはじめとする文化施設、水辺空間、自然などの様々な場所で、気軽に伝統文化芸術に触れることができる機会の創出を推進します。

▸**文化施設の活用**…プラバホール、しいの実シアター、小泉八雲記念館、中村元記念館、松江市文書館（仮称）、博物館（松江歴史館、安部榮四郎記念館、県立美術館など）、公民館、図書館など



▸**街中や水辺で文化に触れる**…職人商店街の形成、水辺空間や市役所新庁舎の利活用



▸**自然を楽しむ**…ジオパーク推進事業、「嫁ヶ島活用事業」など




さんびる文化センタープラバホール


水辺空間でのイベント


市役所新庁舎でのイベント


安部榮四郎記念館での紙漉き体験

KPI（重要業績評価目標）

No.	KPIの名称 （★は総合計画掲載のKPI）	単位	基準値	R7	R8	R9	R10
5	年1回以上、市内で開催される演劇やコンサート等を鑑賞したことがある市民の割合	%	(R5)45.3	45	47	49	51
6	歴史・文化資源のまち歩き参加者数【4月～3月】★	人	(R5)198	120	120	120	120
7	松江歴史館観覧者数【4月～3月】★	人	(R5)48,647	54,000	55,500	57,000	58,500

03 後継者・担い手育成

担い手が育つ、文化がつながる

文化振興を図るうえで、伝統文化芸術活動の担い手が必要です。これからの松江の文化の担い手を確保するため、人財を発掘し育成する必要があります。後継者が減少している現状に対し、以下の点に取組みます。

主な取組

1 学校・地域で知る、体験する

●学校・家庭・地域が連携した学習カリキュラムの中で、松江市の歴史や文化を学べる環境の充実を図ります。

▸**「ふるさと教育」の推進**…松江城、松江歴史館での体験



▸**地域の伝統芸能、文化などの体験**…佐陀神能、関乃五本松節、卒業証書の紙漉きなど



▸**小泉八雲が捉えた松江の文化の学習**…「こども塾スーパーへるんさん講座」





松江城授業プロジェクト



スーパーへるんさん講座

2 職人・プロが育つ

●工芸作家や和菓子職人など、手仕事の価値を発信するとともに、新たな販路や雇用の創出を図ります。

▸**工芸品の展示、販売ができる機会の創出**…カラコロ工房の活用、クラフトフェアの開催



▸**新規出店希望者等への支援**…「職人商店街創出支援」など



3 伝統文化芸能を守る

●地域に根付く地域行事（祭り、とんど行事など）へ、誰もが参加しやすい環境整備や、地域内外の円滑なコミュニケーションの推進を図ります。

▸地域行事の歴史やノウハウを保存する活動への支援



▸伝統文化・芸能を守る団体に対する活動助成、団体間の連携推進





松江祭鼕行列


片江墨付けとんど祭り


佐陀神能


松江市民文化祭

4 市職員の人財育成

●文化振興を担う各部門に、必要に応じた専門職員の採用・配置を目指します。
●個々の職員が、文化財や伝統文化、文化芸術の専門的知識の獲得に努めます。加えて、関係機関との関係構築、伝統文化芸術活動を支える方々との連携、伝統芸術活動を行う方同士を結びつけるなど、スキルアップのための研鑽を積んでいきます。

KPI（重要業績評価目標）

No.	KPIの名称 （★は総合計画掲載のKPI）	単位	基準値	R7	R8	R9	R10
8	地域行事（お祭りや伝統文化など）に参加したことがある（中学生、高校生、大学生等）の割合	%	(R6)62.6	66	68	70	72
9	松江市文化協会加盟団体の構成員総数	人	(R5)5,792	5,800	5,800	5,800	5,800

04 資金確保

応援したくなる、され続ける

文化振興を図るうえで、文化施設の維持・管理や文化活動を継続していくために、資金は必要不可欠です。今後も伝統文化芸術活動を継続的に振興していくための財源を確保すべく、以下の点に取組みます。

主な取組

1 松江の文化が応援される環境を整備する

●松江の伝統文化芸術に関心がある方や事業者などが、ふるさと納税やクラウドファンディング、協賛金などで、応援したくなる環境の整備と風土の醸成に取組みます。

▸**魅力的なふるさと納税の返礼品の発掘・開発**





松江市 HP


ふるさと納税返礼品（一日城主体験）

2 伝統文化芸術を磨き上げる

●松江城をはじめとする文化財や茶の湯文化、伝統工芸品、伝統芸能など、松江がもつユニークで多彩な文化資源をさらに磨き上げ、市民はもとより松江を訪れた観光客が応援したくなる、また訪れたくなるような取組みを推進します。

3 支援制度を積極的に活用する

●国や島根県、各種団体が実施している各種支援制度の情報収集を行い、積極的な活用に努めるほか、広く情報提供も行うことで、活動者自身が自ら活用できる環境を整えます。

KPI（重要業績評価目標）

No.	KPI の名称 （★は総合計画掲載の KPI）	単位	基準値	R7	R8	R9	R10
10	ふるさと納税受入額【4 月～3 月】	千円	(R5)379,863	600,000	700,000	700,000	700,000
11	観光入込客数（観光施設・イベントなどの入込客数/【1 月～12 月】）★	万人	(R5)857	1,020	1,040	1,060	1,080

第４章　推進のあり方

1　推進をする上での役割（市、文化に関わる者の役割）

松江の文化力を生かしたまちづくりを推進するため、市民、伝統文化芸術活動を行う者、事業者、松江の伝統文化芸術活動に関心のある者と本市が連携・協働しながら、実施計画を推進していくことが重要です。そのため、伝統文化芸術を通じて他分野の様々な活動主体が連携・協働し、それぞれの役割を果たしながら一体となって取組みます。

⑴市の役割

松江市

- 伝統文化芸術振興に関する施策を総合的かつ計画的に推進
- 観光や産業、教育、まちづくりなど様々な分野の施策との連携
- 必要な財政上の措置
- 伝統文化芸術の情報発信

⑵文化に関わる者の役割

市民

- 伝統文化芸術振興の主役
- 自発的かつ主体的に活動や鑑賞を行う
- イベントの運営への参画
- 伝統文化芸術の情報発信

伝統文化芸術活動を行う者

- 自身の活動に積極的に取り組む
- 他団体との連携を深め、交流を図る
- 次代の担い手となる人財の育成

事業者

- 事業や団体への協賛や支援
- 市民との協働や連携
- 従業員の文化芸術活動の環境整備

松江の伝統文化芸術活動に関心がある者

- 松江の文化力の理解・支援
- 自発的かつ主体的に活動や鑑賞を行う
- 伝統文化芸術の情報発信

2　関係機関との連携及び市の推進体制

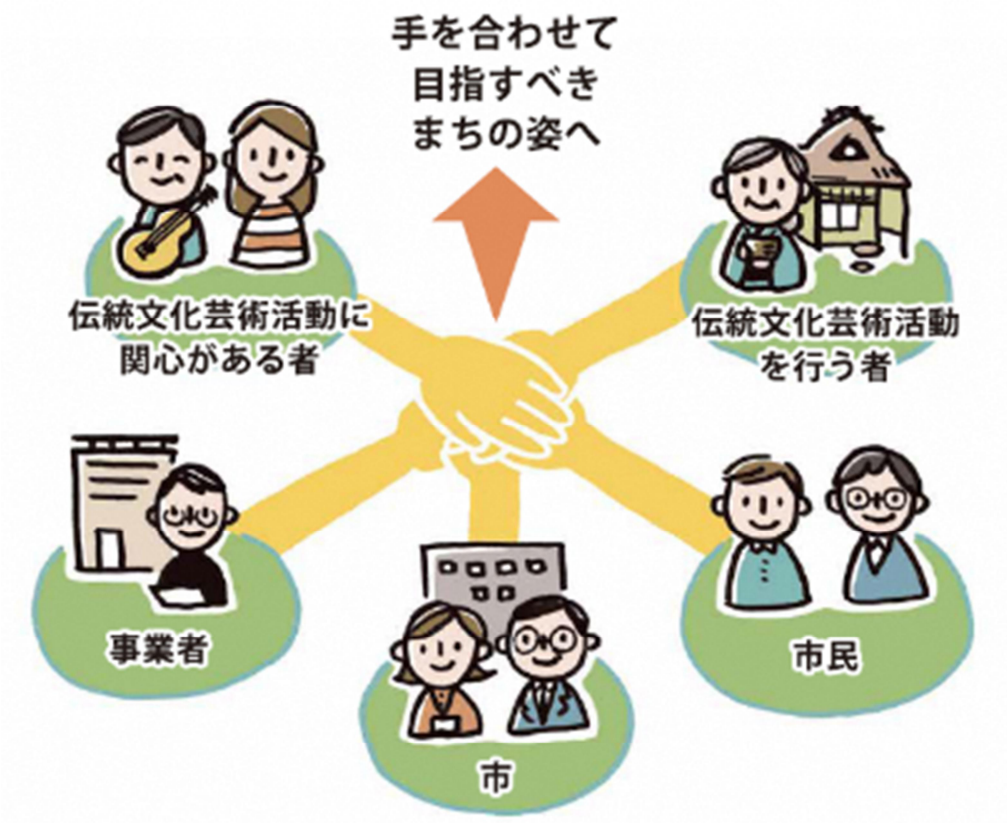
⑴関係機関との連携

国や県も文化政策に取り組んでいます。本市及び文化に関わる者は、国の動向や国や県などの補助制度を注視するとともに、県や宍道湖・中海・大山圏域の各自治体、姉妹都市・友好都市などの行政機関、大学などの専門的な研究機関と、施設間の連携や共同調査研究、文化観光周遊ルートの構築など、様々な分野で連携していきます。

また、本市及び文化に関わる者は、それらの情報を共有するとともに、本市は文化に関わる者の意向やニーズを把握し、それらをスピーディに施策や事業に反映させていきます。

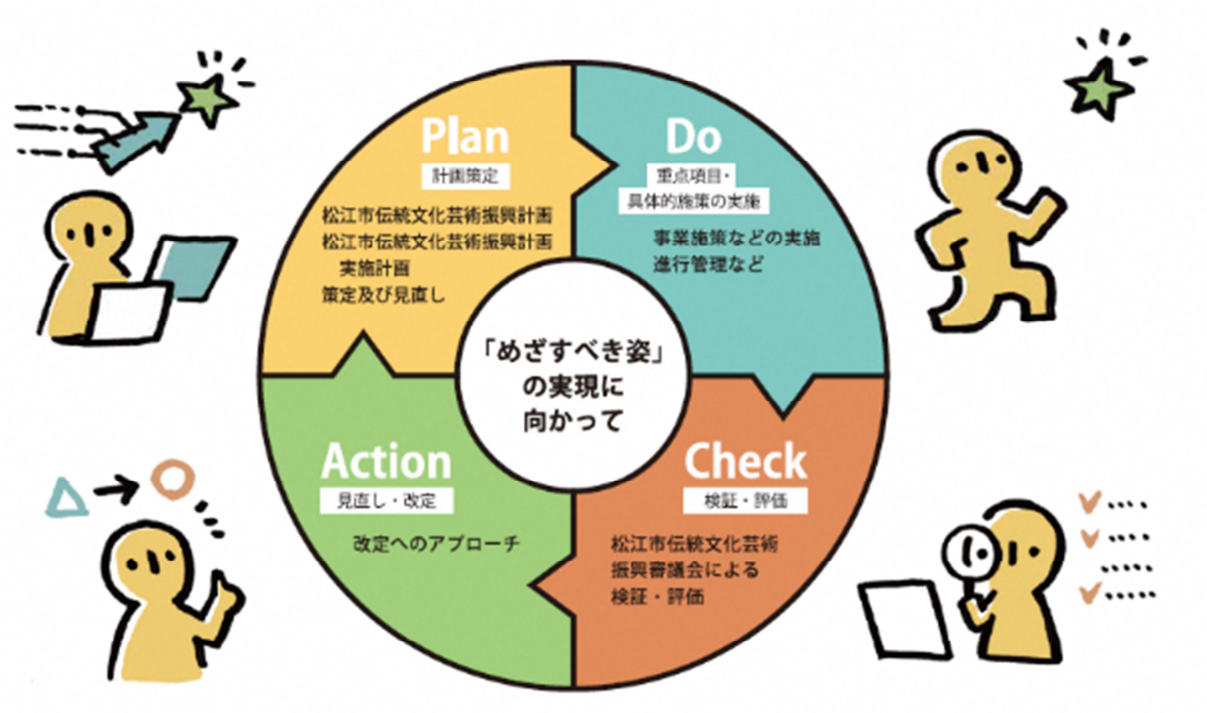
⑵市の推進体制

伝統文化芸術振興に関連する分野は非常に幅広いことから、実施計画を推進するにあたり、市内部での連携が不可欠です。令和3年度に新設をした「文化スポーツ部」を中心に、観光や教育、生涯学習、景観政策などの関連事務を担う部局とも連携し、関係部局による庁内連絡会議を定期的に開催することで、「オール松江市」で伝統文化芸術振興に取り組んでいきます。



3　実施計画の評価・検証

実施計画に掲載する施策が効果的に実施され、「めざすべき姿」の実現に向かっているかを検証するため、進捗管理を行います。PDCA サイクルによって、審議会に実施計画の進捗状況を報告・評価を行い、その結果を踏まえて、施策の見直しや改善を図ります。また、必要に応じて、振興計画の改定も行います。結果については、ホームページで広く市民に公表します。



4　ＳＤＧｓとの連携

本市は令和 5 年に「SDGs 未来都市」に選定されました。この選定を受け、本計画の策定においては、SDGs の理念と整合を図りながら、「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)」の達成に向けた取組みを進めていきます。



第５章　ＫＰＩ一覧

	No.	ＫＰＩの名称 （★は総合計画掲載のＫＰＩ）	項
めざすべき姿	①	「松江の伝統文化芸術を誇りに思い、心豊かになれるまち」だと考える市民の割合	34

【４つの課題ごとのKPI】

効果的な情報発信	②	松江市ホームページ文化関係ページのアクセス数【4月～3月】	34
	③	松江歴史館収蔵品データベースのアクセス数【4月～3月】	34
	④	市から発信された情報がわかりやすいと感じる市民の割合★	35
鑑賞・体験・学習の機会の確保	⑤	年1回以上、市内で開催される演劇やコンサート等を鑑賞したことがある市民の割合	35
	⑥	歴史・文化資源のまち歩き参加者数【4月～3月】★	35
	⑦	松江歴史館観覧者数【4月～3月】★	35
後継者・担い手育成	⑧	地域行事（お祭りや伝統文化など）に参加したことがある（中学生、高校生、大学生等）の割合	36
	⑨	松江市文化協会加盟団体の構成員総数	36
資金確保	⑩	ふるさと納税受入額【4月～3月】	36
	⑪	観光入込客数（観光施設・イベントなどの入込客数／【1月～12月】）★	36

【七つの柱ごとのKPI】

文化財	⑫	国・県・市指定等文化財の新指定等件数	37
	⑬	松江城天守登閣者数【4月～3月】★	37
伝統文化	⑭	（小6）今住んでいる地域の行事に参加している児童生徒の割合★	37
	⑮	（中3）今住んでいる地域の行事に参加している児童生徒の割合★	37
	⑯	松江伝統芸能祭の観覧者数（2年に1回開催）	38
茶の湯文化	⑰	4月24日は茶の湯の日だと知っている人の割合	38
	⑱	明々庵及び赤山茶道会館の入館・利用者数【4月～3月】	38
生活文化	⑲	多文化理解を促進する事業への参加者数【4月～3月】★	38
	⑳	小泉八雲記念館の入館者数【4月～3月】	39
文化芸術活動	㉑	松江市民美術展来場者数	39
	㉒	松江市文化協会加盟団体の団体数	39
	㉓	しいの実シアターの利用者数【4月～3月】	39
拠点施設	㉔	プラバホール施設利用者数【4月～3月】★	40
	㉕	出雲かんべの里利用者数【4月～3月】	40
景観	㉖	水辺の公共空間活用日数【4月～3月】★	40
	㉗	宍道湖を身近に感じる人の割合	40

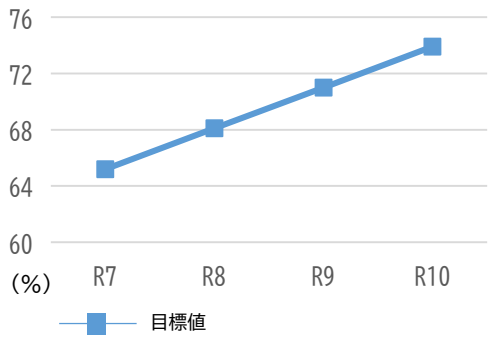
単位	基準値	目標値				目標値の考え方
		R7	R8	R9	R10	
%	(R6)62.3	65.2	68.1	71.0	73.9	R11 年度の目標値 77%に向け、段階的に設定

件	(R5)132,356	140,000	142,000	144,000	146,000	毎年＋2,000 件
件	(R6)4,344	4,400	4,500	4,600	4,700	毎年＋100 件
%	(R6)49.6	55	56.3	57.5	58.8	毎年＋1.25%
%	(R5)45.3	45	47	49	51	毎年＋2%
人	(R5)198	120	120	120	120	20 人×6 回
人	(R5)48,647	54,000	55,500	57,000	58,500	毎年＋1,500 人
%	(R6)62.6	66	68	70	72	毎年＋2%
人	(R5)5,792	5,800	5,800	5,800	5,800	5,800 人を維持
千円	(R5)379,863	600,000	700,000	700,000	700,000	当該年毎に目標値を設定
万人	(R5)857	1,020	1,040	1,060	1,080	毎年＋20 万人

件	(R5)4	2	2	2	2	年 2 件以上の指定・追加指定
人	(R5)375,756	470,000	480,000	480,000	490,000	R11 年度の目標値 500,000 人に向け、段階的に設定
%	(R5)56.4	71	73	75	77	毎年＋2%
%	(R5)34.3	54	56	58	60	毎年＋2%
人	(R4)319	－	500	－	500	隔年開催で 500 人を維持
%	(R6)36.7	37	39	41	43	毎年＋2%
人	(R5)15,736	15,900	16,060	16,220	16,390	明々庵の入館者毎年＋1.02% 赤山茶道会館は入館者維持
人	(R5)2,780	2,400	2,600	2,800	3,000	毎年＋200 人
人	(R5)64,952	100,000	102,000	100,000	100,000	100,000 人を維持
人	(R6)1,349	1,400	1,450	1,500	1,550	毎年＋50 人
団体	(R6)95	95	95	95	95	95 団体を維持
人	(R6)3,080	5,300	3,000	3,000	5,300	森の演劇祭開催年は 5,300 人、それ以外の年は 3,000 人
人	(R1)76,161	104,000	108,000	112,000	116,000	R11 年度の目標値 120,000 人に向け、段階的に設定
人	(R5)61,832	120,000	120,000	120,000	120,000	毎年 120,000 人
日	(R5)280	370	395	395	406	湖畔公園整備事業やソフト事業による利用日数の増加
%	(R6)91.7	92	92.5	93	93.5	毎年＋0.5%

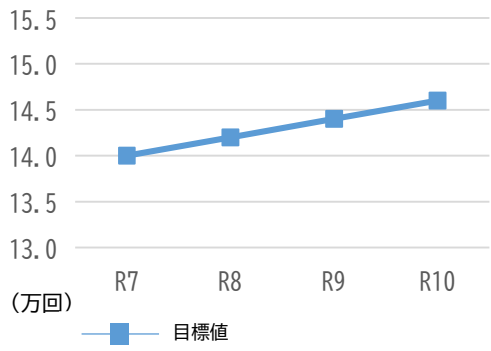
「めざすべき姿」に関するＫＰＩ（重要業績評価指標）

ＫＰＩ	①「松江の伝統文化芸術を誇りに思い、心豊かになれるまち」だと考える市民の割合			
関連する課題	―			
基準値	（R6 年度）62.3%		総合計画掲載	―
年度	R7	R8	R9	R10
目標値	65.2	68.1	71.0	73.9
実績値				
目標値の算出根拠	「松江市まちづくりのための市民アンケート」結果 R11 年度の目標値 77%に向け、段階的に設定する			

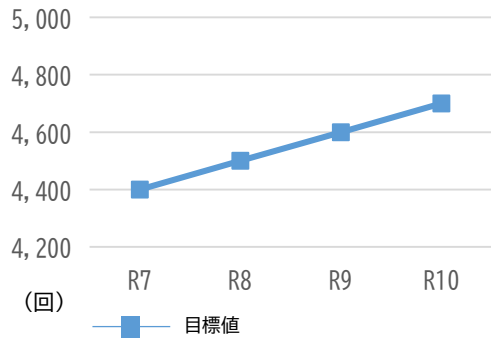


「４つの課題」に関するＫＰＩ（重要業績評価指標）

ＫＰＩ	②松江市ホームページ文化関係ページのアクセス数【4 月～3 月】			
関連する課題	効果的な情報発信			
基準値	（R5 年度）132,356 回		総合計画掲載	―
年度	R7	R8	R9	R10
目標値	140,000	142,000	144,000	146,000
実績値				
目標値の算出根拠	松江市公式ホームページのうち「歴史・文化財」「伝統文化・文化芸術」ページのアクセス数の合計 毎年＋2,000 件を目標にする			

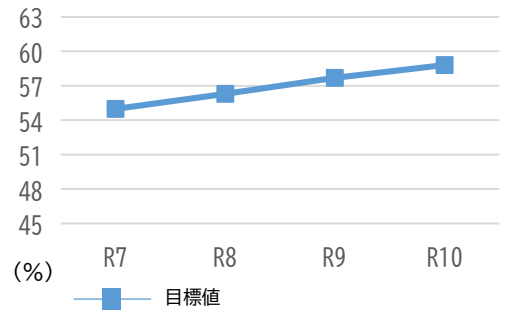


ＫＰＩ	③松江歴史館収蔵品データベースのアクセス数【4 月～3 月】			
関連する課題	効果的な情報発信			
基準値	（R6 年度）4,344 回		総合計画掲載	―
年度	R7	R8	R9	R10
目標値	4,400	4,500	4,600	4,700
実績値				
目標値の算出根拠	毎年＋100 件を目標にする			

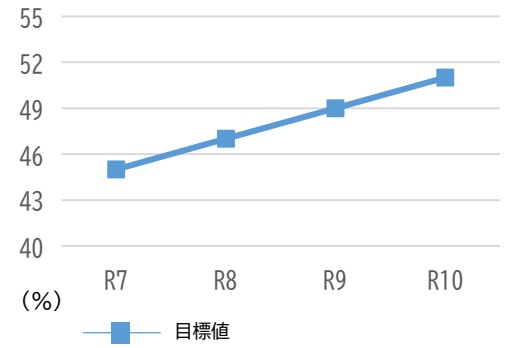


「４つの課題」に関するＫＰＩ（重要業績評価指標）

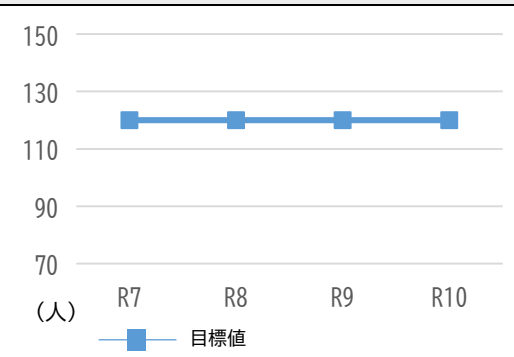
ＫＰＩ	④市から発信された情報がわかりやすいと感じる市民の割合			
関連する課題	効果的な情報発信			
基準値	（R6 年度）49.6%		総合計画掲載	○
年度	R7	R8	R9	R10
目標値	55.0	56.3	57.7	58.8
実績値				
目標値の算出根拠	「松江市まちづくりのための市民アンケート」結果 R11 の目標値 60%に向け、段階的に設定する			



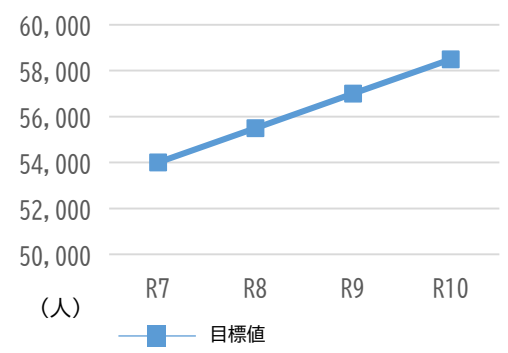
ＫＰＩ	⑤年１回以上、市内で開催される演劇やコンサート等を鑑賞したことがある市民の割合			
関連する課題	鑑賞・体験・学習の機会の確保			
基準値	（R5 年度）45.3%		総合計画掲載	―
年度	R7	R8	R9	R10
目標値	45	47	49	51
実績値				
目標値の算出根拠	「松江市まちづくりのための市民アンケート」結果 基準値は文化庁「文化に関する世論調査（令和５年度）」を基に算出			



ＫＰＩ	⑥歴史・文化資源のまち歩き参加者数【４月～３月】			
関連する課題	鑑賞・体験・学習の機会の確保			
基準値	（R5 年度）198 人		総合計画掲載	○
年度	R7	R8	R9	R10
目標値	120	120	120	120
実績値				
目標値の算出根拠	「わがまち自慢発掘プロジェクト事業」の参加者数 20 人×6 回で 120 人を目標にする			

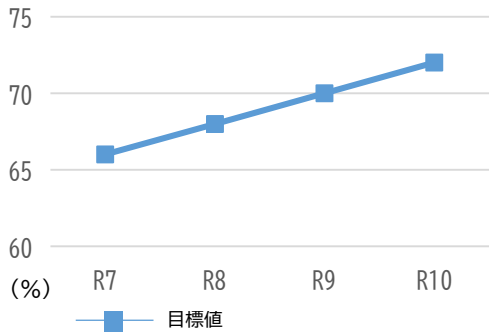


ＫＰＩ	⑦松江歴史館観覧者数【４月～３月】			
関連する課題	鑑賞・体験・学習の機会の確保			
基準値	（R5 年度）48,647 人		総合計画掲載	○
年度	R7	R8	R9	R10
目標値	54,000	55,500	57,000	58,500
実績値				
目標値の算出根拠	毎年＋1,500 人を目標にする			

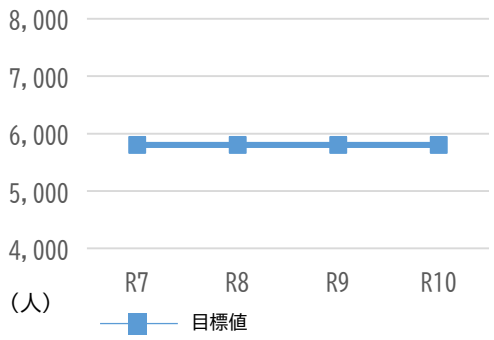


「４つの課題」に関するＫＰＩ（重要業績評価指標）

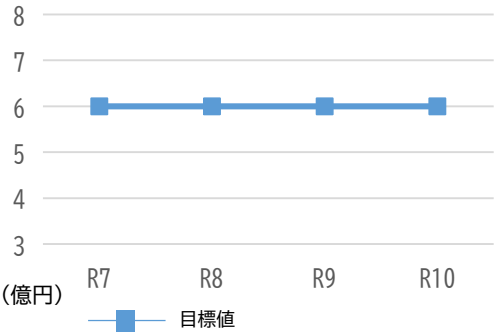
ＫＰＩ	⑧地域行事（お祭りや伝統文化など）に参加したことがある（中学生・高校生・大学生等）の割合			
関連する課題	後継者・担い手育成			
基準値	（R6 年度）62.6%		総合計画掲載	―
年度	R7	R8	R9	R10
目標値	66	68	70	72
実績値				
目標値の算出根拠	「松江市まちづくりのための市民アンケート」結果 毎年＋2%を目標にする			



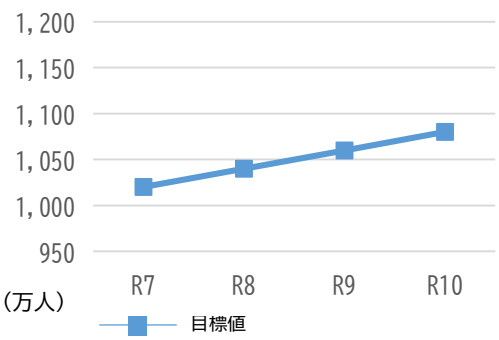
ＫＰＩ	⑨松江市文化協会加盟団体の構成員総数			
関連する課題	後継者・担い手育成			
基準値	（R5 年度）5,792 人		総合計画掲載	―
年度	R7	R8	R9	R10
目標値	5,800	5,800	5,800	5,800
実績値				
目標値の算出根拠	令和 5 年度の実績値を維持することを目標とする			



ＫＰＩ	⑩ふるさと納税受入額【4 月～3 月】			
関連する課題	資金確保			
基準値	（R5 年度）379,863 千円		総合計画掲載	―
年度	R7	R8	R9	R10
目標値	600,000	600,000	600,000	600,000
実績値				
目標値の算出根拠	前年実績を参考に毎年度目標値を設定する			

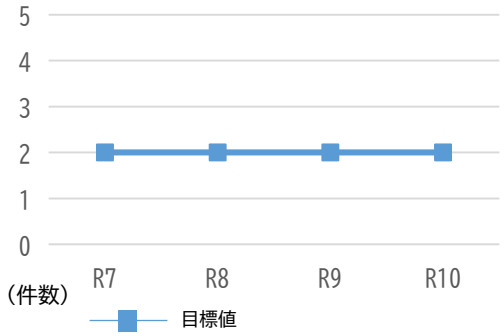


ＫＰＩ	⑪観光入込客数（観光施設・イベントなどの入込客数）【1 月～12 月】			
関連する課題	資金確保			
基準値	（R5 年度）857 万人		総合計画掲載	―
年度	R7	R8	R9	R10
目標値	1,020	1,040	1,060	1,080
実績値				
目標値の算出根拠	令和 11 年の目標値 1,100 人に向け、毎年＋20 万人を目標にする。 「MATSUE 観光戦略プラン」の目標に準拠する			

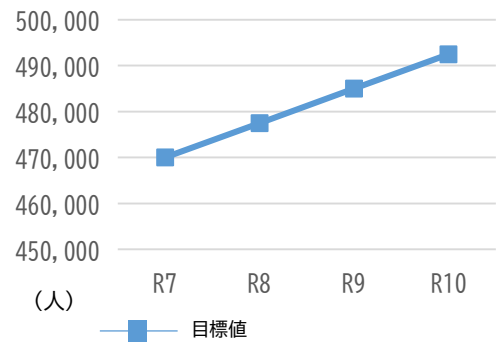


「七つの柱」ごとのＫＰＩ（重要業績評価指標）

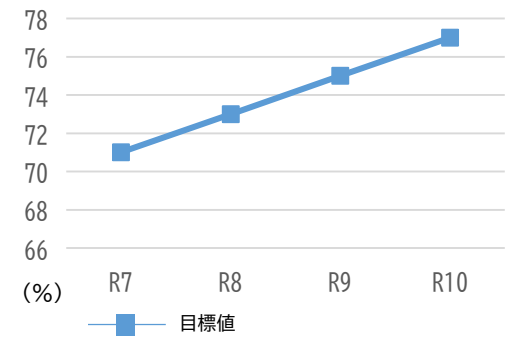
ＫＰＩ	⑫国・県・市指定等文化財の新指定等件数			
関連する七つの柱	古代から近代までの豊富な文化財			
基準値	（R5 年度）4 件		総合計画掲載	―
年度	R7	R8	R9	R10
目標値	2	2	2	2
実績値				
目標値の算出根拠	年 2 件以上の指定・追加指定を目標とする			



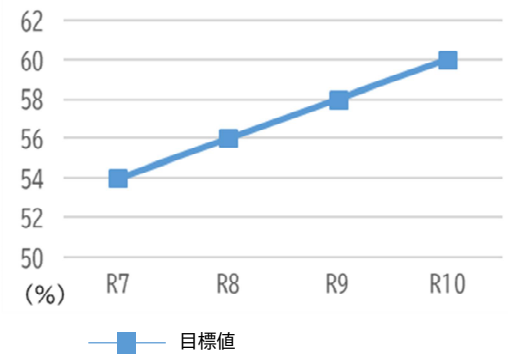
ＫＰＩ	⑬松江城天守登閣者数【4 月～3 月】			
関連する七つの柱	古代から近代までの豊富な文化財			
基準値	（R5 年度）375, 756 人		総合計画掲載	○
年度	R7	R8	R9	R10
目標値	470, 000	477, 500	485, 000	492, 500
実績値				
目標値の算出根拠	R11 年度の目標値 500, 000 人に向け、段階的に設定する			



ＫＰＩ	⑭（小６）今住んでいる地域の行事に参加している児童生徒の割合			
関連する七つの柱	地域に根づく伝統文化			
基準値	（R5 年度）56. 4%		総合計画掲載	○
年度	R7	R8	R9	R10
目標値	71	73	75	77
実績値				
目標値の算出根拠	「市独自意識調査」結果 毎年＋2%を目標にする			

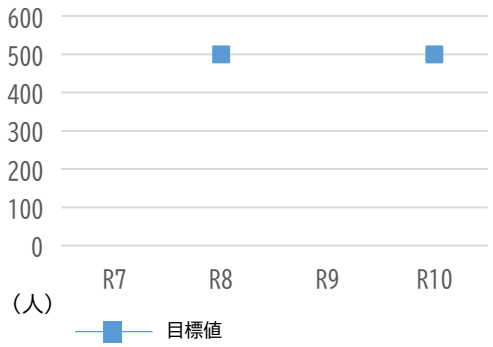


ＫＰＩ	⑮（中３）今住んでいる地域の行事に参加している児童生徒の割合			
関連する七つの柱	地域に根づく伝統文化			
基準値	（R5 年度）34. 3%		総合計画掲載	○
年度	R7	R8	R9	R10
目標値	54	56	58	60
実績値				
目標値の算出根拠	「市独自意識調査」結果 毎年＋2%を目標にする			

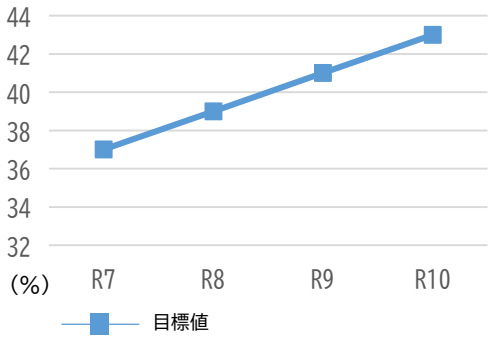


「七つの柱」ごとのＫＰＩ（重要業績評価指標）

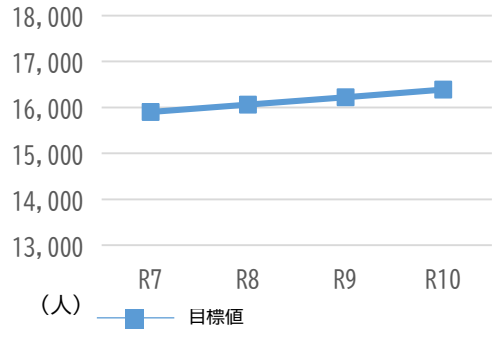
ＫＰＩ	⑯松江伝統芸能祭の観覧者数（2 年に 1 回開催）			
関連する課題	地域に根づく伝統文化			
基準値	（R4 年度）319 人		総合計画掲載	―
年度	R7	R8	R9	R10
目標値	―	500	―	500
実績値				
目標値の算出根拠	各年開催で 500 人を目標にする			



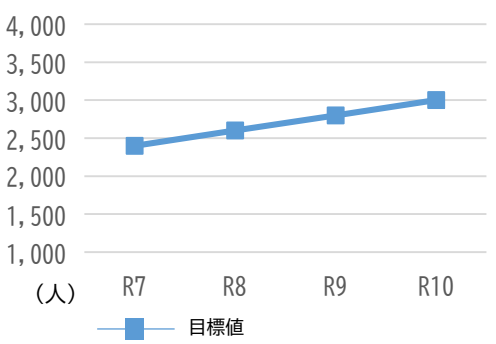
ＫＰＩ	⑰4 月 24 日を茶の湯の日と知っている人の割合			
関連する課題	市民生活に根づく茶の湯文化			
基準値	（R6 年度）34.3%		総合計画掲載	―
年度	R7	R8	R9	R10
目標値	37	39	41	43
実績値				
目標値の算出根拠	4 月に開催する茶の湯の日イベントのアンケート結果 毎年+2%を目標にする			



ＫＰＩ	⑱明々庵及び赤山茶道会館の入館・利用者数【4 月～3 月】			
関連する課題	市民生活に根づく茶の湯文化			
基準値	（R5 年度）15,736 人		総合計画掲載	―
年度	R7	R8	R9	R10
目標値	15,900	16,060	16,220	16,390
実績値				
目標値の算出根拠	明々庵の利用入館者について毎年＋1.02% 赤山茶道会館については現状維持を目標にする			

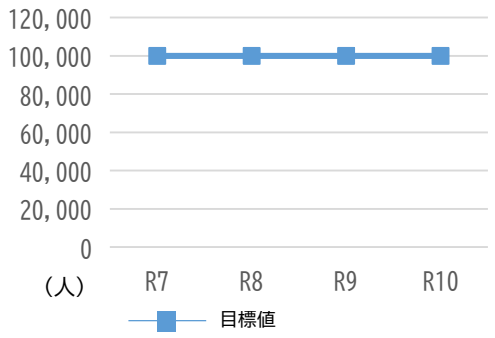


ＫＰＩ	⑲多文化理解を促進する事業への参加者数【4 月～3 月】			
関連する課題	小泉八雲が五感で感じた松江の生活文化			
基準値	（R5 年度）2,780 人		総合計画掲載	○
年度	R7	R8	R9	R10
目標値	2,400	2,600	2,800	3,000
実績値				
目標値の算出根拠	毎年＋200 人を目標にする			

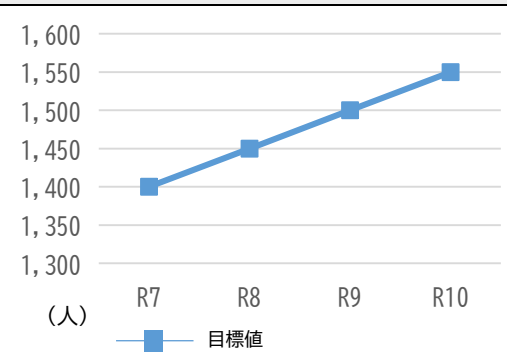


「七つの柱」ごとのＫＰＩ（重要業績評価指標）

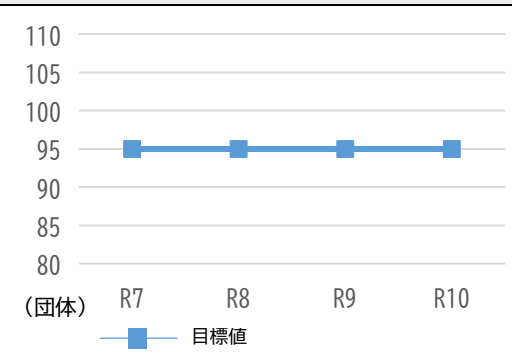
ＫＰＩ	⑳小泉八雲記念館の入館者数【4 月～3 月】			
関連する課題	小泉八雲が五感で感じた松江の生活文化			
基準値	（R5 年度）64,952 人		総合計画掲載	―
年度	R7	R8	R9	R10
目標値	100,000	100,000	100,000	100,000
実績値				
目標値の算出根拠	小泉八雲とセツのドラマ効果を見込み、令和 7 年度は 100,000 人を目標とし、令和 8 年以降は 100,000 人の維持を目標とする			



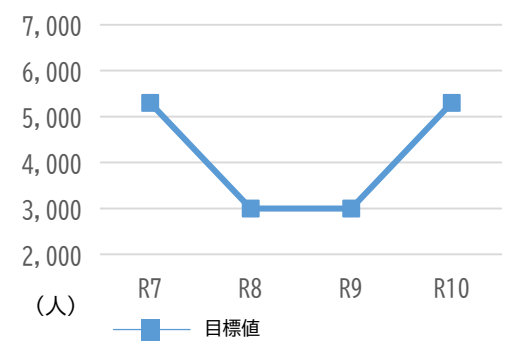
ＫＰＩ	㉑松江市民美術展来場者数			
関連する課題	市民とともに育む文化芸術活動			
基準値	（R6 年度）1,349 人		総合計画掲載	―
年度	R7	R8	R9	R10
目標値	1,400	1,450	1,500	1,550
実績値				
目標値の算出根拠	毎年＋50 人を目標にする			



ＫＰＩ	㉒松江市文化協会加盟団体の団体数			
関連する課題	市民とともに育む文化芸術活動			
基準値	（R6 年度）95 団体		総合計画掲載	―
年度	R7	R8	R9	R10
目標値	95	95	95	95
実績値				
目標値の算出根拠	95 団体の維持を目標にする			

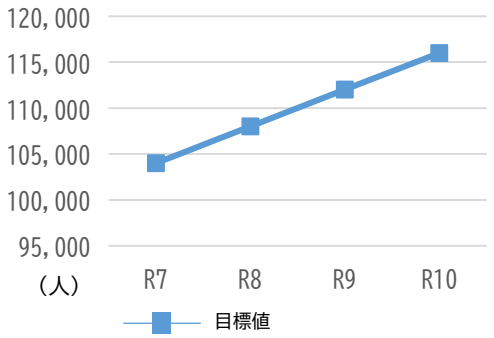


ＫＰＩ	㉓しいの実シアターの利用者数【4 月～3 月】			
関連する課題	市民とともに育む文化芸術活動			
基準値	（R6 年度）3,080 人		総合計画掲載	―
年度	R7	R8	R9	R10
目標値	5,300	3,000	3,000	5,300
実績値				
目標値の算出根拠	「松江・森の演劇祭」の開催年は 5,300 人、それ以外の年は、3,000 人を目標にする			

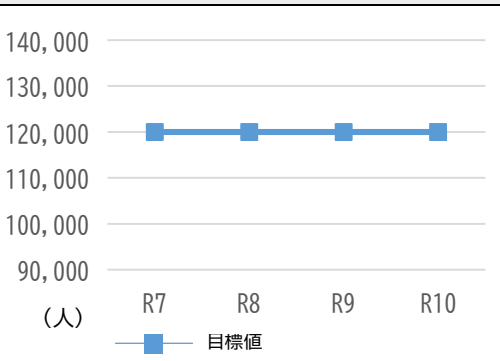


「七つの柱」ごとのＫＰＩ（重要業績評価指標）

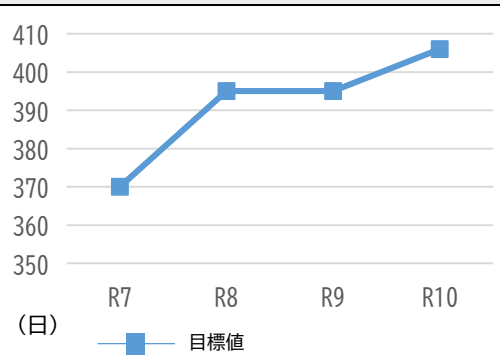
ＫＰＩ	㉔プラバホール施設利用者数【4 月～3 月】			
関連する課題	伝統文化芸術活動の拠点となる施設			
基準値	（R 元年度）76,161 人		総合計画掲載	○
年度	R7	R8	R9	R10
目標値	104,000	108,000	112,000	116,000
実績値				
目標値の算出根拠	令和 11 年度の利用者数 120,000 人を目標に段階的に設定する			



ＫＰＩ	㉕出雲かんべの里利用者数【4 月～3 月】			
関連する課題	伝統文化芸術活動の拠点となる施設			
基準値	（R5 年度）61,832 人		総合計画掲載	―
年度	R7	R8	R9	R10
目標値	120,000	120,000	120,000	120,000
実績値				
目標値の算出根拠	120,000 人の維持を目標にする			



ＫＰＩ	㉖水辺の公共空間活用日数【4 月～3 月】			
関連する課題	宍道湖、堀川、中海等の松江的景観			
基準値	（R5 年度）280 日		総合計画掲載	○
年度	R7	R8	R9	R10
目標値	370	395	395	406
実績値				
目標値の算出根拠	中心市街地にある６つの水辺空間の延べ利用日数 湖畔公園整備事業や水辺を使ったソフト事業による利用日数の増加を見込む			



ＫＰＩ	㉗宍道湖を身近に感じる人の割合			
関連する課題	宍道湖、堀川、中海等の松江的景観			
基準値	（R5 年度）91.7%		総合計画掲載	―
年度	R7	R8	R9	R10
目標値	92	92.5	93	93.5
実績値				
目標値の算出根拠	「松江市まちづくりのための市民アンケート」結果毎年＋0.5%を目標にする			

